

J E M A S 2018 年 2 月 セミナー

～パリ協定の具現化、環境・品質の ISO 改訂に対応するために必要な力量とは～

－審査員やコンサルに求められる「環境経営の指導力」と「データ収集と解析力」とは－

皆様ご承知のとおり ISO14001, ISO9001 の改訂も定着し、各企業とも新規格をベースとして新しい環境経営に鋭意取り組んでいます。これは中小企業についても同様で、E A 2 1 やエコステージも I S O 規格改訂に対応して新規格を制定し、よりレベルの高い環境経営を目指しています。

一方では、パリ協定を実効あるものとすべく、国際的な協議や国内での更なる温暖化ガス排出削減に向けての動きが加速されつつあります。加えて、S D G s に向けての動きも忘れてはなりません。

大企業ではこれらに対応するための社内人材は確保されていますが、中小企業においては外部のコンサルや審査員・評価員の指導により対応しているのが現実であり、これらの方々の力量に頼りながら環境経営を一步一步構築しているのが現実です。

今回は、これら中小企業の環境経営を指導する方々にはどのような力量が求められるのかを視点に、環境問題や社会のあり方について、幅広い分野から情報発信されている安井先生にご講演をいただくことを中心にセミナーを計画しました。加えて、審査での現場での実態の報告や環境のみならず経営やC S R も視点に入れた環境パフォーマンスの統合報告のあり方も触れたいと考えています。

今回のセミナーは参加者の皆さまにとって眼から鱗が落ちるのではないかと期待しています。多数のご参加を歓迎いたします。

日 時： 2018 年(平成 30 年)2 月 17 日(土) 13:30～16:50 (受付開始 13:00～)

場 所： 東京大学本郷農学部キャンパス「弥生講堂アネックス、エンゼル研究棟講義室」
〒113-8658 文京区弥生 2-12-16 (最寄り駅 東京メトロ南北線 東大前)

東大農学部正門を入ってすぐ左の <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>

記

開会の挨拶 小山 富士雄 (JEMAS 理事長)

講演 1 「環境MS を取り巻く最新の流れと I S O 新規格のポイント」

J E M A S 理事 AUDIX Registrars 社長 齋藤喜孝 13:30～13:50

講演 2 「地球温暖化対策、S D G s を念頭において企業に求められるその本質的な対応」

国連大学名誉副学長/東京大学名誉教授/

一般財団法人 持続性推進機構理事長 安井 至氏 13:50～15:20

講演 3 「E A 2 1 審査の現場からの報告」

J E M A S 会員 芦ヶ原治之 15:30～15:50

講演 4 「C S R や S D G s を念頭に置いた環境パフォーマンス評価と統合報告」

J E M A S 理事 富士通 F I P 伊藤泰志 15:50～16:20

講師を交えてのディスカッション 16:20～16:50

主 催：N P O 法人日本環境管理監査人協会 (J E M A S)

定 員：30 名 (定員になり次第 締め切りとさせていただきます)

参加費：学生 無料、資料代として会員の方は 500 円、一般の方は 1000 円いただきます。

申し込み先 jemas@y9.dion.ne.jp [2018 JEMAS 2 月 17 日セミナー 受付係]